

エコライフコンテストの最優秀賞を決定!!

本紙2月1日号などで募集

したエコライフコンテストで86件の応募をいただき、各賞を決定しました。そこで、今回は、最優秀賞事例を紹介し

ます。
なお、最優秀賞・優秀賞の受賞者を取り組みは次のとおりです。

〈敬称略〉

■最優秀賞(1件)

長谷部 保(桜井町/65歳)
「自動車燃料を減らす工夫」

■優秀賞(4件)

鈴木 隆夫(弁天町/67歳)
「夏場の電気使用量の削減」

田中 かね(今本町/79歳)
「車庫の屋根の雨水を畑や花

に」

都築 幸江(赤松町/51歳)
「タイムスイッチで省電力」

廣瀬 美紀(榎前町/39歳)
「夏のが家は海の家風」



エコライフ
コンテストとは?

家庭で行う省エネルギー・省資源の取り組みを対象にしたコンテストです。今回は、次の4項目について評価をしました。

- ① 具体性 アイデアのみではなく、実際に取り組んでいるか?
- ② 獨創性 創意・工夫がされたものか?
- ③ 普及性 一般市民が取り組みやすいものか?
- ④ エコライフ性 省エネルギー・省資源効果は大きいのか?

問い合わせ
環境都市推進課

最優秀賞事例の紹介

長谷部保さんの取り組み「自動車燃料を減らす工夫」

1 公共交通機関に乗り換える

あんくるバスや電車などが利用できる場合は、できるだけ自家用車での移動を控えます。



◆例 3 km離れた自宅とJR安城駅間を何度も移動する場合、自家用車(軽自動車)を使用すると

$3 \div 15 = 0.2$ ℓ
1回あたり0.2ℓの燃料を消費することになります。
※燃費15 km/ℓで計算。
もし、10回の移動を名鉄、あんくるバスを利用すれば、合計2ℓも燃料が節約できます。

2 運転技術の工夫

自動車を運転するときのちょっとした心がけが、燃料の節約につながります。



①前方の信号が赤で停止するとわかったら、アクセルから足を離し、エンジンブレーキで減速する。



3 乗らない工夫

近距離の移動は徒歩や自転車にします。
◆例 1か月間、2 km以内の移動を徒歩・自転車で行った場合

郵便局(1.5 km) × 2回
公民館(1.5 km) × 1回
農協(1 km) × 3回
通院(0.9 km) × 10回
買い物(0.5 km) × 3回
計18 km

自家用車(軽自動車)で移動した場合にかかる燃料は
 $18 \div 15 = 1.2$ ℓ
つまり、1か月1.2ℓの燃料が節約できます。
※燃費15 km/ℓで計算。

4 乗る自動車を変更

できるだけ、燃費の良い軽自動車で外出するようにします。

◆例 年間2000 km走行した場合、排気量2000ccの普通乗用車が消費する燃料は
 $2000 \div 8 = 250$ ℓ
※燃費8 km/ℓで計算。



軽自動車消費する燃料は
 $2000 \div 15 = 133$ ℓ
※燃費15 km/ℓで計算。
軽自動車でのみ走行すれば、年間約117ℓの燃料が節約できます。



わたしが昔から取り組んでいたことを応募しました。
特別な器具や設備が必要なく、自動車を運転する人なら誰でもできます。
ぜひ、皆さんもやってみてください。

